

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	保護者のニーズに合わせ、プログラムを作成しています。	継続をし、より良い支援ができるよう取り組んでまいります。
2	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われている。	集団療育に馴染めないお子様には個別療育をご提案して療育をしています。個別療育での学びを集団療育へと活かしていただけるよう、日々ご支援しています。	継続をし、より良い支援ができるよう取り組んでまいります。
3	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	送迎時や緊急時等、保護者からのご相談に対応しています。緊急時には面談を行い、ご家庭での支援方法をお伝えし、議事録を職員間で共有しています。	継続をし、より良い支援ができるよう取り組んでまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの交流イベント等を継続して実施できず、保護者交流の機会が提供できていない	保護者間でもご要望がなかったため控えていた	保護者のニーズを把握し、保護者参加型のイベントを継続して実施していく。
2	地域の方との交流をあまり実施しておらず、提供できていない	吹田市内を中心とした、外出イベントをたくさん実施しましたが、地域のコミュニティ等には参加できていない	SNS等を活用し、土日や長期休暇期間中に開催される地域の催しを調査し、積極的に参加をしていく
3			